

汎用的能力・リテラシー※の成長の軌跡（H26年度入学生：1年次→3年次）

※リテラシー：知識を活用して問題を解決するチカラ。

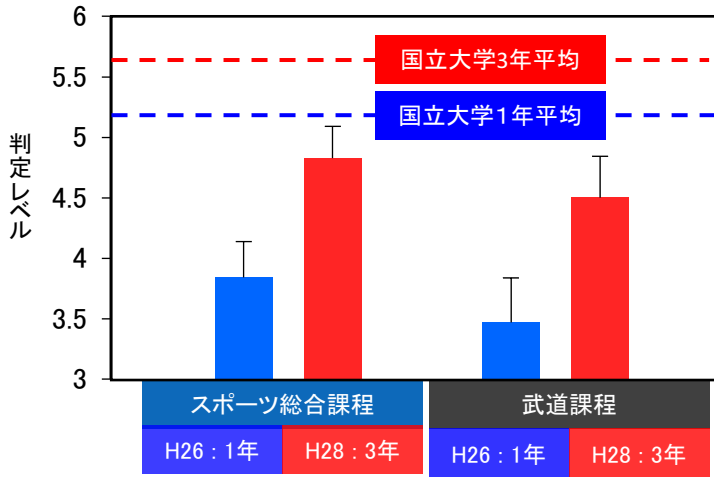


図1. 各課程におけるリテラシーの総合結果の変化

現4年生が1年次(H26年度)と3年次(H28年度)にPROGテストを受験した結果です。リテラシー項目では、スポーツ総合課程・武道課程ともに大幅にレベルが上昇しています(図1)。全ての項目で伸びており、特に「構想力※」(図2, 3)が伸びています。しかし、他の国立大学生と比べると本学の学生のリテラシーは低いのが現状です。特に「情報収集力」「情報分析力」「言語処理能力※」において大きな差が見られ、今後の改善が期待されます(図2, 3)。



※構想力：さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する力

※言語処理能力：語彙や同義語、言葉の係り受けなど日本語の運用に関する基礎的な能力

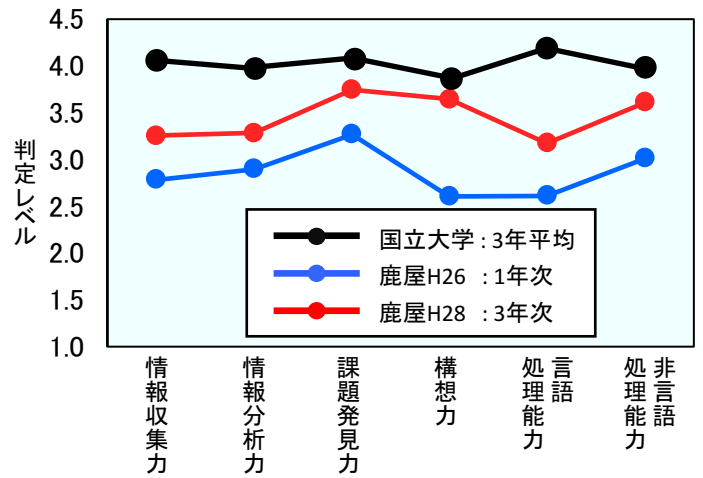


図2. スポーツ総合課程のリテラシー項目の変化

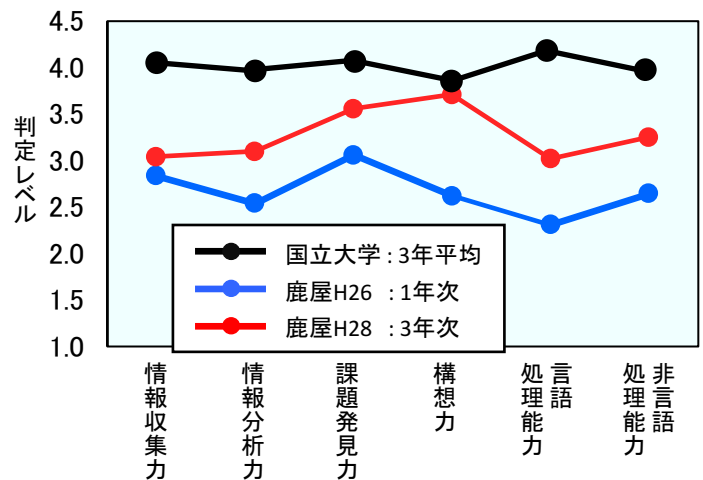


図3. 武道課程のリテラシー項目の変化

汎用的能力・コンピテンシー※の成長の軌跡（H26年度入学生：1年次→3年次）

※コンピテンシー：人と自分にベストな状態をもたらそうとするチカラ。

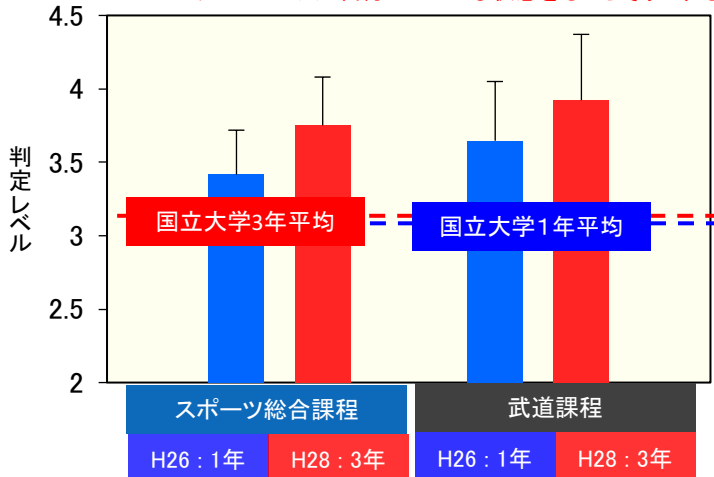


図4. 各課程におけるコンピテンシー総合結果の変化

コンピテンシー項目も、スポーツ総合課程・武道課程ともに1年次から3年次にかけてレベルが上昇しています(図4)。特に「対自己基礎力」と「対課題基礎力」が伸びています(図5, 6)。

他の国立大学生と比べてみると、本学の学生は1年次から全般的にコンピテンシーが高いことがわかります。特徴としては、「対人基礎力」「対自己基礎力」が非常に高いことがわかります。しかし、細かくみると「統率力※」「課題発見力」「計画立案力」が低いことがわかります(図5, 6)。

リテラシー同様、今後の改善が期待されます。



※統率力：場を読み、目標に向かって組織を動かす力

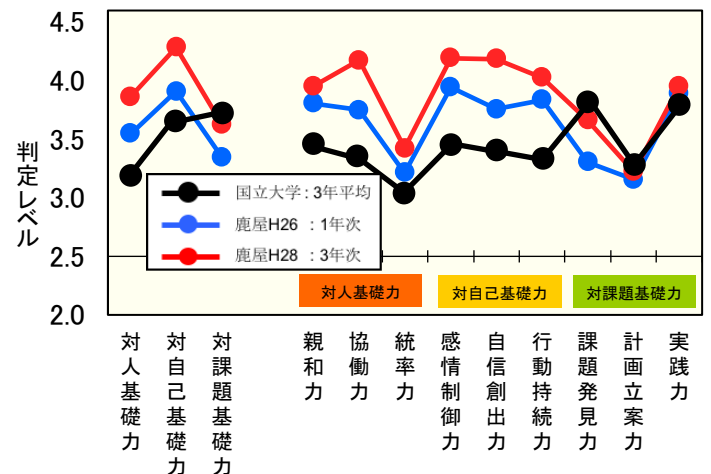


図5. スポーツ総合課程のコンピテンシー項目の変化

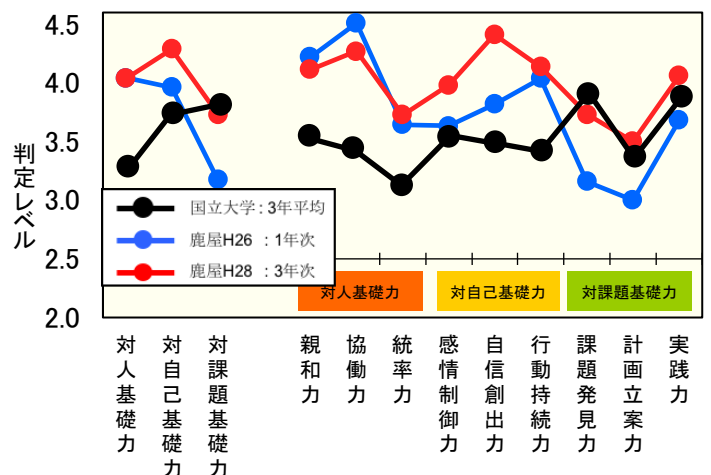


図6. 武道課程のコンピテンシー項目の変化